

2025年8月1日

関西国際空港

2025年夏季期間中の国際線旅客数予想

2025年夏季期間中(2025年8月8日(金)～2025年8月17日(日)、計10日間)の関西国際空港における国際線旅客数予想*についてお知らせいたします。

*国際線旅客数予想は日本人旅客数と外国人旅客数の合計値です。

- ・期間中の国際線旅客数は、765,000人(1日平均:76,500人)を見込んでいます。
(※2019年夏季期間実績(10日間):748,030人(1日平均:74,800人))
- ・期間中の国際線出発のピークは8月9日(土)の47,000人、
国際線到着のピークは8月16日(土)の43,800人を見込んでいます。
(※2019年実績 出発ピーク:8月16日(金)47,250人 到着ピーク:8月16日(金)54,370人)
- ・期間中の1日平均では2019年比102%となり、方面別では中国、韓国、東南アジアを上位3方面と見込んでいます。

<2025年夏季期間中の国際線旅客数予想>

	旅客数	1日平均	1日平均2019年比
出発	391,800人	39,200人	102%
到着	373,200人	37,300人	103%
合計	765,000人	76,500人	102%

*2019年夏季期間は2019年8月9日(金)から2019年8月18日(日)の計10日間

<出到着ピーク日予想>

	出発		到着	
第1位	8月9日(土)	47,000人	8月16日(土)	43,800人
第2位	8月10日(日)	45,400人	8月15日(金)	43,600人
第3位	8月8日(金)	45,000人	8月17日(日)	42,800人

<期間中国際線出発旅客数上位3方面予想>

	2025年		2019年実績	
第1位	中国	130,000人(114%)	中国	114,490人
第2位	韓国	90,200人(120%)	韓国	75,290人
第3位	東南アジア	57,600人(90%)	東南アジア	63,680人

*2019年実績は大阪出入国在留管理局発表実績値を用いています。

*上表の国際線出発旅客数は日本人出発旅客数と外国人出発旅客数の合計値です。

*()内の数値は1日平均前期比です。

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

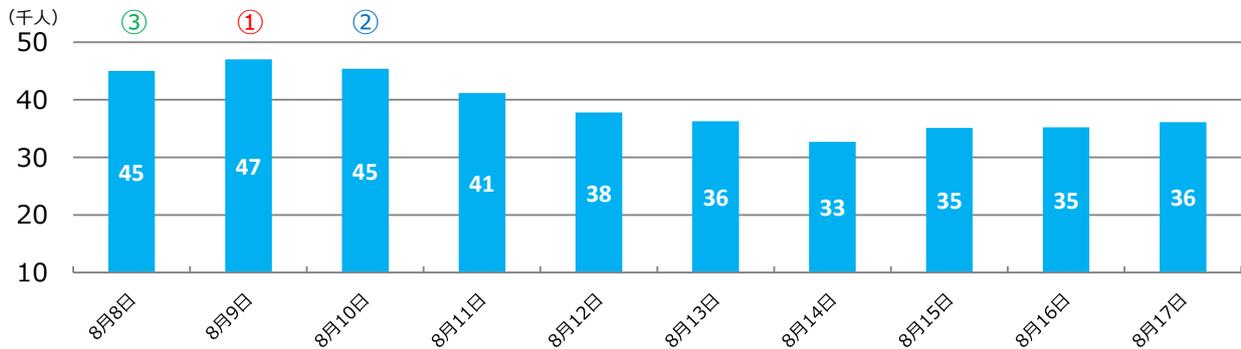
関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel : 072-455-2201

2025年 旅客数予測 (10日間)				(参考) 2019年 旅客数実績 (10日間)					
	出発	到着	合計		出発	到着	合計		
8月8日	金 ③ 45,000	34,700	② 79,700	8月9日	金	37,460	32,260	69,720	
8月9日	土 ① 47,000	34,900	① 81,900	8月10日	土 ③ 41,570	33,530	75,100		
8月10日	日 ② 45,400	33,200	78,600	8月11日	日 ② 45,680	35,110	③ 80,790		
8月11日	月	41,200	33,400	74,600	8月12日	月	40,460	35,960	76,420
8月12日	火	37,800	33,300	71,100	8月13日	火	39,320	34,040	73,360
8月13日	水	36,300	36,600	72,900	8月14日	水	39,330	39,020	78,350
8月14日	木	32,700	36,900	69,600	8月15日	木	15,120	14,450	29,570
8月15日	金 ② 43,600	78,700	8月16日	金 ① 47,250	① 54,370	① 101,620			
8月16日	土 ① 43,800	③ 79,000	8月17日	土 ② 43,830	② 84,050				
8月17日	日 ③ 42,800	78,900	8月18日	日 ③ 40,940	79,050				
合計	391,800	373,200	765,000	合計	384,520	363,510	748,030		
期間平均	39,200	37,300	76,500	期間平均	38,450	36,350	74,800		

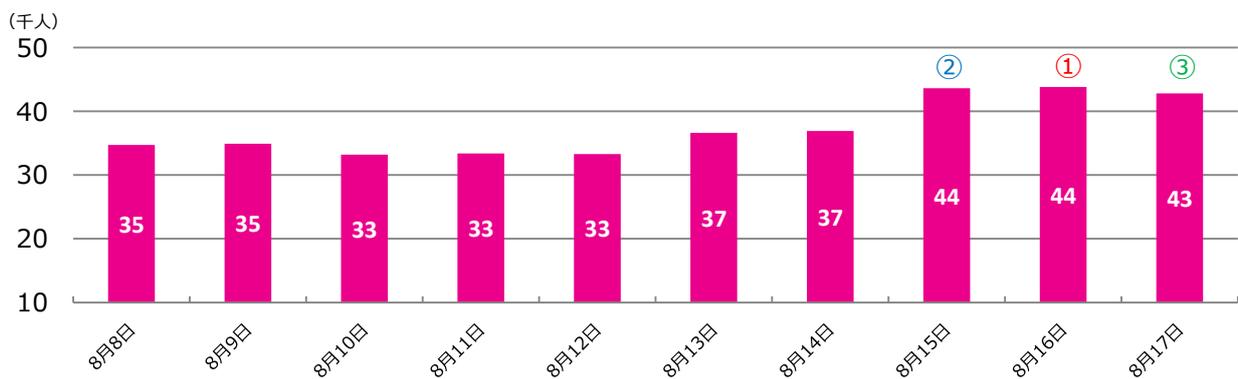
① = 第1ピーク ② = 第2ピーク ③ = 第3ピーク

※2019年度実績は大阪出入国在留管理局発表の実績値を用いています。

(出発)国際線日別旅客数予測グラフ



(到着)国際線日別旅客数予測グラフ





関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス株式会社 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約34,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14か国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構